

平成 27 年 6 月 16 日
自動車検査独立行政法人

民間競争入札実施事業

**自動車検査独立行政法人自動車検査用機械器具の保守管理業務の実施状況について
(平成 23、24、25、26 年度)**

I. 事業の概要

1. 委託業務内容

自動車検査独立行政法人法第 14 条の規定に基づき関東検査部管内 23 事務所に設置される自動車検査用機械器具維持及び管理

2. 業務委託期間

平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

安全自動車株式会社グループ

(構成員：安全自動車株式会社、株式会社アルティア、株式会社イヤサカ、株式会社バンザイ)

4. 契約金額

234,000 千円（税抜）

II. 業務の実施に当たり確保されるべき質の達成状況及び評価

各業務	測定指標	評価		
		期間		適・不適
検査機器定期点検	定期点検実施に伴う閉鎖時間が半期で 354 時間 50 分を上回らないこと。	平成 23 年度	上半期 311 時間 15 分 下半期 337 時間 00 分	適
		平成 24 年度	上半期 320 時間 15 分 下半期 295 時間 15 分	
		平成 25 年度	上半期 309 時間 00 分 下半期 313 時間 05 分	
		平成 26 年度	上半期 313 時間 55 分 下半期 317 時間 35 分	
		平成 23 年度	234 時間 15 分	
		平成 24 年度	223 時間 05 分	
		平成 25 年度	240 時間 20 分	
		平成 26 年度	235 時間 00 分	
重量計定期検査	定期検査に伴う閉鎖時間が 23、25、27 年度にあっては年間 42 時間 30 分、24、26 年度にあっては年間 20 時間 00 分を上回らないこと。(注)	平成 23 年度	00 時間 30 分	適
		平成 24 年度	00 時間 30 分	
		平成 25 年度	00 時間 45 分	
		平成 26 年度	00 時間 15 分	

注) 重量計の定期検査は 2 年に 1 度であり、各年における検査基数が異なるため、指標設定が相違している。

III. 仕様書に記載の業務内容の達成状況及び評価

各業務	確認事項	評価
検査機器定期点検	全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。	適 (業務報告書の内容、業務監督責任者の所見等から、確実かつ適切に実施されたと認められる。)
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後 7 日以内に報告されているか。	
検査機器校正	登録校正実施機関による校正を受けているか。	適 (業務報告書の内容、業務監督責任者の所見等から、確実かつ適切に実施されたと認められる。)
	全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね 1 年以内に校正が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後 7 日以内に報告されているか。	
重量計定期検査	指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。	適 (業務報告書の内容、業務監督責任者の所見等から、確実かつ適切に実施されたと認められる。)
	全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から 2 年以内に定期検査が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後 7 日以内に報告されているか。	

IV. 実施経費の状況及び評価

1. 平成 23/24/25/26/27 年度と市場化テスト以前で業務仕様が同等な平成 17/18 年度の実施経費

平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日 (60 か月) 234,000 千円 (税抜)

平成 17 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日 (24 か月) 106,130 千円 (税抜)

(内訳：平成 23/25/27 年度 単年度 47,200 千円、平成 24/26 年度 単年度 46,200 千円

平成 17 年度 55,217 千円、平成 18 年度 50,913 千円)

2. 平成 25/26 年度の実施経費と平成 17/18 年度の実施経費を比較した経費削減効果

(注) 重量計の定期検査が 2 年に 1 度であり、検査基数が奇数年度 (15 基) と偶数年度 (9 基) で相違するため、直近の検査基数が同程度の 2 か年平均で比較。

平成 25/26 年度と平成 17/18 年度の経費比較

$((47,200+46,200)/2) - ((55,217+50,913)/2) = -6,365$ 千円 (削減率▲12.0%)

(参考) 前回の市場化テスト (平成 21 年 6 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

経費 (22 ヶ月) 93,650 千円 (税抜)

$(93,650 \times (24/22))/2 = 51,082$ 千円

3. 評価

市場化テスト以前の平成 17/18 年度と直近の検査基数が同程度の平成 25/26 年度の 2 か年平均の実施経費を比較すると 6,365 千円 (12.0%) の経費削減であり、平成 21、22 年度に引き続き経費削減効果は維持できていると評価できる。

V. 競争状況及び評価

1. 本業務の応札状況

総合評価方式で入札を実施したところ、入札参加者は 2 者であり、提出された企画書について審査した結果、入札参加資格及び必須審査項目を満たしていたため、最も総合評価点が高い民間事業者と契約した。

2. 前回の市場化テスト（平成 21 年 6 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）における応札状況

総合評価方式で入札を実施したところ、入札参加者は 1 者であり、提出された企画書について審査した結果、入札参加資格及び必須審査項目を満たしていたが、予定価格を下回らず不落となつたため入札参加者と交渉を行い、予定価格の範囲内で随意契約を行つた。

3. 評価

平成 21、22 年度と比較して競争性が更に改善したと評価できる。

VI. 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

重量計定期検査の実施について、検査時間外（昼休み等）に実施されており可能な限り検査コースの閉鎖時間を少なくする努力がみられた。

VII. 全体的な評価

市場化テスト以前で業務仕様が同等な平成 17/18 年度と単年度比較すると経費が 1 割以上削減され、良好な実施状況が認められたところではあるが、実施状況についての外部有識者等によるチェック体制が未定であることから、引き続き次期事業においても、現行の市場化テストに沿つて実施することとしたい。